

宗務所便り

2017年7月1日発信 No. 61
愛知西教区宗務所長 山田英隆 九拝

謹啓上 暑中お見舞い申し上げます

梅雨入りは例年並みと言われましたが晴天が続き、関東地方では節水制限の報道がなされました。6月下旬から本格的な降雨に恵まれましたが、集中豪雨が起り各地に危害を及ぼしております。自然の猛威では片つけられない気候の変化が起きております。私達も何時何処でおきるかわからない災害に対応できる備えが必要に思います。

7月、お盆に向けての準備にと何かと気忙しい時期であります。暑さ対策をしていただき健康管理等にご注意してお過ごし下さい。

頓首敬白

6月の報告

1日	妙興寺孤雲室老大師 答礼	於、妙興寺
2日	瑞泉寺玄玄庵老大師 答礼	於、瑞泉寺
7日～8日	寺庭婦人ステップアップ講座・開講スクーリング	於、岐阜・天衣寺
8日	名古屋禅センター坐禅会	於、白林寺
8日～9日	無相教会師範会、称号試験	於、本山
12日	教区報編集会議	於、林貞寺
13日	本山参拝推進委員会	於、本山
15日	無相教会代表委員会	於、本山
15日～16日	人権擁護推進合同研究会	於、本山
16日～18日	瑞泉寺本派安居会	於、瑞泉寺
20日	教区寺院セミナー準備会	於、林貞寺
20日～21日	無相教会称号取得者講習会・階級試験	於、本山
21日	前堂職法階取得研修会	於、本山
22日	名古屋白隠シンポジウム	於、熱田文化小劇場
23日	連合会反省会	於、江南市
24日	月授戒（乾徳寺 木下紹胤師）	於、瑞泉寺
27日	第1回教区寺院セミナー	於、名古屋都市センター
29日	本山新亡供養（愛知西教区該当日）	於、本山

7月の予定

3日	青年僧の会研修会	於、白林寺
6日～7日	全国花園会会長会	於、本山
10日	本山参拝推進委員会	於、本山
13日	微笑会理事会	於、本山
13日	名古屋禅センター坐禅会	於、白林寺
24日	月授戒（総見院 戸崎祥之師）	於、瑞泉寺
26日	本山集団得度式	於、本山
26日～27日	本山学徒研修会	於、本山
27日	僧侶育成審議会	於、本山
27日～29日	社会事業従事者研修大会	於、本山

※ 宗務本所・宗務所・宗務支所の盆休みは、8月8日～17日です。進達書類提出の方は、7月末までに宗務所手続きを終えるように早めに提出して下さい。以後は8月21日からの事務処理です。

< 報告 >

◎定期御親化授戒会

定期御親化授戒会には皆様の御協力をいただき多くの戒徒様にご参加いただきました。厚く御礼申し上げます。以下、各部の参加人数をお知らせいたします。尚、会計報告は後日に発表いたします。

参加人数、おいずれる売上数、塔婆供養数

部	本戒参加数	因縁戒参加数	おいずれる	塔婆供養
1	117	92	16	17
2	32	19	7	8
3	17	27	3	2
4	28	16	3	6
5	44	30	0	4
6	40	12	3	4
7	32	31	4	14
8	30	10	1	3
9	47	77	7	6
10	84	54	15	18
11	23	90	6	6
12	15	28	6	0
13	29	19	9	15
14	21	76	2	5
23日			18	7
24日			45	1
合計	559名	578名	145枚	116枚

◎第1回教区寺院セミナーの報告

セミナー委員 寶光寺 六鹿正紀

去る6月27日(火)午後1時半より、金山の名古屋都市センターにて今年度第1回目となる教区寺院セミナーが開催されました。講師にはエッセイストの杉本恭子氏をお迎えし、「寺報を作る」をテーマに

40名を超える参加者を集め非常に活況を呈しました。

内容としては個人の主観から作成したワークシートの記入から、5～6名によるテーブル毎に分かれてのグループ討論、ワークを中心とした企画構成となっており、参加者が主役で補佐役を講師の先生が務めるといった寺院セミナーとしては非常に珍しい形でセミナーが進められました。それだけに当初、参加者のほとんどに戸惑いがみられましたが、それぞれが自問自答しながらテーマに真剣に向き合うことで、参加者各自の「寺報」が頭の中で出来上がり有意義な討論ができたのではないかと思います。

寺報作成にあたっての要点は参加者並びに各教区寺院に配布されるレジュメをご覧ください。として、小生が当セミナーを通じて個人的に感じたことは、混迷を深める現代社会において檀信徒その他寺院に関わる全ての方とのご縁を結ぶツールとしての寺報の役割は益々重要であると再認識できたこと、またマクロな観点から申せば寺院運営が半ば自営業化している現代において、住職だけに留まらず寺族を含めた寺院側の弛まぬ「企業努力」に今後の寺門宗門の発展が左右されるであろうということを改めて痛感致しました。

先生の仰られた「読者目線にたつて」という、ごく当たり前の考え方一つをとっても、我々の寺院における独善的になりやすい日常生活において、つい忘れがちな、しかし最も大切でもあり必要な「付度」ではなかろうかと考えます。

◎平成 28 年度 人権擁護推進委員・教区人権擁護推進員合同研究会報告

人権擁護推進員副員 楽音寺 杉村陽介

今年 6 月 15 日から 16 日にかけて、妙心寺・花園会館において「本派人権擁護推進員合同研究会」が開催されました。

講義 1 では、本派人権擁護推進委員会委員長である河合宗徹師をお招きして「人権問題に対する妙心寺派の取り組み」についてお話をしていただきました。明治 44 年の大逆事件（明治天皇暗殺計画）に連座したとして本派から僧籍を剥奪された峰尾節堂師の処分は、無根拠であり無思量であったと言わざるをえないとしてその名誉、人権の回復として、来る平成 30 年には百回忌法要及び石碑建立を予定しているなど、本派としての人権活動への取り組みのお話に始まり、また人権チェックシートなどを用いた人権感覚の実践的な講義もあり大変有意義な勉強をさせていただきました。

講義 2 では、佐賀部落解放研究所の中村久子氏をお招きして「被差別部落、その歴史と現在」というテーマでお話をさせていただきました。我々が学校で習った、部落というのは士農工商にはじまる身分制度を時の支配者が人々を管理、支配するのに容易なように創り上げたことが元となったというのは誤りで、もともと差別され続けてきた人々、集落が存在して今日に繋がっているとのことでした。そこでは、結婚差別、就職差別にはじまりひいては死後の世界における差別戒名というものまでもが存在し社会の底辺に追いやられてきたとのことであるそうです。畜男、畜女という戒名を親兄弟に付けられ、それでも逆らうことは出来ずに手を合わせ続けてこられた人々のことを思うと胸が締め付けられる思いでした。

ここには、我々僧侶も差別に加担したというれっきとした事実が存在します。それは恥ずべきことであり、僧侶として考えさせられる問題であると思います。今日、部落差別など無くなったという人がいるかもしれませんがそれは間違いです。そう思う心自体が、差別に対して前向きに関わっていない証拠ではないのかと思います。差別を減らし、無くしていくには前向きに差別という問題に関わっていこうとする気持ち、それが大事なのではないかと改めて考えさせられるいい研究会だったと思います。

◎第 11 部・本山妙心寺奉仕団参報告

第 11 部宗務支所長

6 月 3 日（土）、4 日（日）の両日、第 11 部は妙心寺の奉仕活動に従事させていただきました。敢えて土日に設定したのは、若い世代に一人でも多く参加していただきたいという願いからです。しかし、今回の一般檀信徒の参加者は 45 名で、大半は 60 歳以上の方々でした。それでも皆さんご熱心で積極的に取り組んでいただくことができました。6 月初旬の京都は朝夕はひんやりとして気持ち良く、日中もそんなに暑くなく、皆さん心地良い汗をかきながら隅々まで丁寧に仕上げてくださいました。初日は、普段上がることができない山門桜上内の清掃奉仕でした。観音様や羅漢様を間近で拝しながらのご奉仕に皆さん感慨もひとしおでした。二日目は、大方丈の前庭清掃と、お盆に使う行燈の張り紙をはがす作業と二班に分かれておこないました。行燈の数が 700 もあり、時間内に全ての作業を終えることができなくてご本山の関係の方々にご迷惑をおかけしたことが心残りです。

日程につきましては、事前に法務部参拝課と打ち合わせを行ってきましたが、奉仕活動の場所や内容等につきましては、当日ご指示をいただくことになり、その前後の日程の時間調整が上手く対応できなかったことが今回の反省点だと思います。また、広大な境内を奉仕活動の後、すぐに法話会場へ移動りましたが、参加者の中にはそのことが多少負担になった方もおられるようで、そうしたことへの配慮も必要だと思いました。それでも、全員怪我や病気等もなく無事奉仕活動を務めさせていただくことができましたことは無上の法悦と深謝申し上げます。

◎本山新亡供養報告

去る6月29日(木) 午前11時より、本山・法堂にて、花園会本部主催「新亡供養」が行われた。当日は四国西、四国東、山陽、愛知西、信越、山梨、宮城福島教区花園会員の供養。愛知西教区からは156名参加。(洗心会335名 6月27日) 御詠歌奉詠、献笛(尺八の演奏)

江松軒管長猯下導師のもと、新亡供養、管長猯下の御挨拶、新山玄宗常任布教師の法話の後に、大方丈・微笑殿に分かれて昼食を済ませ下山した。

< お願い お知らせ >

◎『教区報』配布のお願い

教化本部

※平成29年度 愛知西教区『教区報 47号』を発行し、間もなく宗務支所へ配布をいたします。

1,500部印刷。支所長様には各寺院に配付をお願いいたします。配付数は、有住寺院は5冊被兼務寺院は3冊といたします。尚、寺族の居られる被兼務寺院には5冊といたします。支所長様には、各寺院内で閑栖様、副住職様にも各自1冊保存いただきますようにご指導下さい。 ※各寺院の責任役員様にも必ず配付をして下さるようにご指導下さい。

※ 編集の都合で発送が遅れました事、お詫び申し上げます。

◎無相教会住職・副住職講習会のご案内

住職・副住職対象の講習会を下記の内容にて開催いたしますので、各教区から2名以上のご参加をお願い申し上げます。現在、御詠歌を始めていない住職・副住職も参加対象です。

御詠歌の同区をお持ちでない方には、当日本部より貸し出します。

開催日 平成29年9月7日(木) 午後1時～8日(金) 午前11時頃まで
対象 住職・副住職
場所 花園会館、本山妙心寺
参加費 10,000円
申込先 無相教会本部
締切日 講習会の1ヶ月前必着

◎平成29年度 「第2回教区寺院セミナー」御案内

教化本部

下記の内容にて、平成29年度「第2回教区寺院セミナー」を開催します。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

年間テーマ「脚下照顧 4」法階昇進対応研修

開催日 平成29年9月4日(月) 午前10時～4時頃まで
場所 妙興寺(一宮市大和町妙興寺)
講師 孤雲室老大師、花園大学・吉田叡禮先生、その他
内容 「提唱と仏教学」

※ セミナー参加者は、「事前に参加申し込み」をして下さい。

(弁当を用意します。参加費は無料です)

※ 別紙にて案内状を発送いたします。

◎教区花園会女性部研修会 案内状配布と参加者募集のお願い

来る、9月19日(火)午前10時～午後2時頃まで、名古屋市中区・白林寺様において「教区花園会・女性部研修会」を開催いたします。

各部より、女性部会長様を含めて5名以上の参加募集を御願いたします。

内容は別紙にてご案内します。

○支所長様には案内状の配布、参加者集計をお願いします。

★ 9月10日までにまとめていただき、宗務所へ寺院名・参加者氏名・参加費を添えて申し込み下さい。(尚、参加費は当日持参下さっても受付します)

尚、別紙にて案内状を発送いたします。

日 時 平成29年9月19日(火) 午前10時～午後2時頃まで

場 所 名古屋市中区栄・白林寺

参加費 500円(昼食代)

申 込 圓光寺 FAX 0587-34-4840

林貞寺 FAX 052-529-2701

◎特別布教 布教師決定

来る9月17日～26日 特別布教を開教致します。布教師が決定いたしましたのでお知らせ致します。

静岡西教区 第2部 台番2921 龍梅寺住職 木村文達 師

<<平成29年度予定>>

8月26日～27日	青年僧の会「禅寺一日入門」	於、一宮・妙興寺
9月4日(月)	第2回教区寺院セミナー	於、一宮・妙興寺
9月19日(火)	花園会女性部研修会	於、名古屋・白林寺
11月17日(水)	教区花園会運営委員会	於、名古屋都市センター
11月22日(水)	第62回花園会愛知西教区大会	於、ウイルあいち
11月27日～28日	教区寺院セミナー現地研修会	於、山梨県・塩山